

第3回世界弓道大会〔東京〕 追加連絡（4月17日）

1. 大会日程について

4月24日（火）

中央道場	
開始時間	内容
8:00	開館（中央道場玄関）
9:00	矢渡
9:30	団体予選招集開始
9:45	団体予選1回目 7立50分 No.1～No.20
10:45	団体予選2回目 7立50分 No.1～No.20
	団体決勝トーナメント進出の為の同中競射
	演武（薩摩日置流腰矢保存会）
	的替
12:45	個人（有段者）予選招集開始
13:00～15:30	個人（有段者）予選 No.409～No.642
	個人（有段者）決勝招集開始
	個人（有段者）決勝 2本目まで
	的替
	個人（有段者）決勝 3本目以降
18:30	個人（有段者）表彰式
19:00	閉館

至誠館弓道場	
開始予定時間	内容
9:30	個人（有段者）予選招集開始
9:45～12:45	個人（有段者）予選 No.1～No.288
	休憩
13:30	個人（有段者）予選招集再開
13:45～15:00	個人（有段者）予選 No.289～No.408
15:00	個人（有段者）決勝招集再開
	個人（有段者）決勝 2本目まで
	決勝3本目から中央道場にて実施

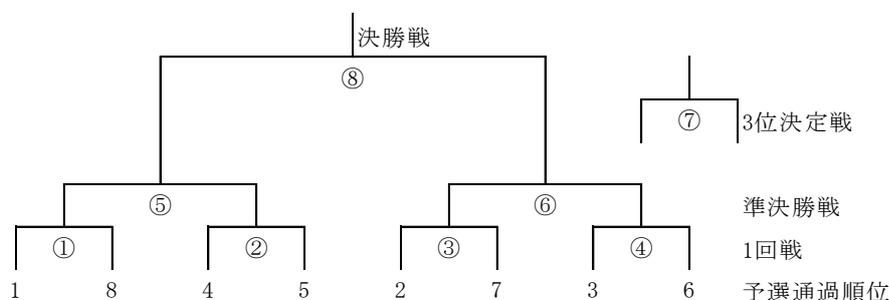
4月25日（水）

中央道場	
開始時間	内容
8:00	開館（中央道場玄関・観覧席）
8:45	個人（称号者）招集開始
9:00～11:30	個人（称号者）予選 No.643～No.881
11:30	個人（称号者）決勝
	休憩
14:15	団体 招集開始
14:30～16:00	団体 決勝トーナメント1回戦
	団体 決勝トーナメント準決勝
	団体 決勝トーナメント3位決定戦
	団体 決勝トーナメント決勝
16:30	閉会式

至誠館	
開始時間	内容
9:00～13:00	団体決勝進出8チーム公開練習

## 2. 団体競技について

- (1) 予選は3射場、決勝トーナメントは2射場に分割して使用する。
- (2) 予選の立順については、抽選器具（ビンゴマシン）を使用し抽選により決定し、国際弓道連盟のホームページに掲載する。
- (3) 決勝トーナメントの組み合わせは、抽選会を行わず、予選の合計的中数上位からトーナメント表に割り当てていく。予選の合計的中数が同中の場合は予選の立順番号が早いチームを上位とする。①は第1試合を意味し、左のチームが第1射場となる。



- (4) 予選時、選手は競技役員の指示に従い射場に入場する。入場後は本座で跪坐をして待ち、競技役員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。予選通過決定の同中競射においても上記と同様に行う。
- (5) 決勝トーナメント時、選手は競技役員の指示に従い射場に入場する。入場後は本座で跪坐をして待ち競技役員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は本座に戻り跪坐、競技役員の勝敗宣言の後、「起立、退場」の合図に従い退場すること。
- (6) 監督は、予選、決勝トーナメントともに、自分のチームの3番目の選手に続き入場し、選手の跪坐と同時にイスへ着席すること。  
監督は、替弦及び替矢に限り射場内へ持ちこむことができる。
- (7) 選手が監督を兼ねる場合は、補欠選手が監督席に座ること。補欠選手の登録がない場合は、競技役員が代行して、監督席に座る。
- (8) 制限時間は、予選・決勝トーナメントともに1立7分30秒以内とする。
  - ①制限時間の計時は、競技役員の「始め」の合図により開始する。
  - ②制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。
  - ③本鈴と同時に射離した矢は無効とする。
  - ④制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。
  - ⑤射場審判委員から行射停止指示が出た場合は、制限時間の規定を適用しない。
  - ⑥自団体内に起因する事故（弦切れ処理等）の場合は、制限時間内で行う。
  - ⑦同中競射については制限時間を設けませんが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。
- (9) 弦切れの場合は、競技役員が替弦を張り選手に渡す。または、競技役員が替弓を選手に渡す。
- (10) 箭の破損による矢の交換は、矢番え完了前までは認める。矢を交換する際には選手が挙手で競技役員に申し出ること。
- (11) 決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用するので、替矢を準備すること。
- (12) 決勝トーナメントに進出する8団体には、至誠館弓道場を4月25日（水）9:00～13:00まで公式練習会場として無料で開放する。練習は競技役員の指示に従い、譲り合って使用すること。原則として矢取りは選手各位が行うこと。
- (13) 選手に対して、4月20日から24日まで中央道場及び至誠館弓道場の開放はない。
- (14) 選手の交代・変更、監督の代行申請については、別紙のとおりとする。

### 3. 個人競技について

- (1) 予選・決勝ともに3人立4射場に分割して使用する。
- (2) 予選の立順については、国際弓道連盟のホームページに掲載する。
- (3) 欠席者の立位置は、前に詰めずに立位置を空ける。
- (4) 予選時、選手は競技役員の指示に従い射場に入場。入場後は、本座で跪坐をして待ち、競技役員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- (5) 決勝時、選手は競技役員の指示に従い射場に入場。入場後は、本座で跪坐をして待ち、競技役員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- (6) 制限時間は特に設けないが、競技の要領（弦音打起し）を遵守すること。
- (7) 決勝は、原則として、射詰競射を1射ずつ行うこととする。
- (8) 順位決定のための遠近競射の競技方法については、競技役員の指示に従うこと。

### 4. 団体競技・個人競技の共通事項について

- (1) 選手の服装は、弓道衣[白筒袖、袴（黒袴を基本とし紺も認める）および白足袋]とする。
- (2) 招集の開始時間は原則として各競技の開始ならびに再開の15分前。
- (3) 第3控で不在の場合は、棄権とみなすこともある。
- (4) 受付にて配布するゼッケンは右腰前に付けること。
- (5) 一手を持って行射するときは、取矢を行うこと。
- (6) 事情により取矢・坐射の免除を希望する場合の免除申請は必要ない。
- (7) 次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。矢番え完了（矢番えた後、右手を腰にとった時点）後に、筈が弦から外れた場合、打起し開始後に、射直した場合。
- (8) 矢が幕に刺さったり横になったりした場合、団体競技では他の射場に、個人競技では他の的に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
- (9) 選手は替矢を準備すること。
- (10) 前の選手より先に射離した場合は、射場審判委員が無効を宣言し、「はずれ」として処理する。ただし、射位において前の選手が持矢を棄権した場合は、この限りではない。
- (11) 大会当日、第3控にて弓具点検を実施するので、事前に点検し、必要に応じ修理を行っておくこと。違反した場合は、失権と判定する。ただし修正されればこの限りではない。
- (12) 躰止めは危険防止のため使用を禁止する。
- (13) 髪の毛が右頬にかかる場合は耳にかけること。髪の毛の長い選手については、危険防止のためゴムなどで束ねておくこと。
- (14) 矢羽の使用に関する準則に該当する矢羽を使用する場合は、矢羽の適正入手証明書（トレーサビリティ証明書）を必要に応じて提示すること。

### 5. 受付について

- (1) 団体競技に出場する団体は、以下の時間帯で、代表者1名が受付を行なうこと。  
4月24日（火）8：00～9：00 中央道場遠的矢道テント内受付
- (2) 個人競技に出場する選手は、以下の時間帯で、自身の出場時間前に選手本人が受付を行なうこと。代理受付は認めない。  
4月24日（火）8：00～15：00 中央道場遠的矢道テント内受付  
4月25日（水）8：00～10：00 中央道場遠的矢道テント内受付

## 6. 表彰について

- (1) 団体競技の優勝・2位・3位の団体に国際弓道連盟より賞状及びメダルを授与する。
- (2) 個人競技の優勝・2位・3位の選手に国際弓道連盟より賞状及びメダルを授与する。
- (3) 個人競技表彰式は、24日(火)競技終了後、中央道場射場にて行う。入賞した選手は競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の手指示に従うこと。選手は弓道衣(白筒袖・袴・白足袋)を着用し参加すること。
- (4) 閉会式は、25日(水)競技終了後、中央道場射場にて行う。入賞した選手と監督は競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の手指示に従うこと。選手は弓道衣(白筒袖・袴・白足袋)を着用し参加すること。

## 7. 会場について

### (1) 開館時間

#### ①中央道場玄関

24日(火)、25日(水) 8:00 予定

至誠館からの出入りはできない。

大会前日は、審査会開催の為、会場の事前確認等で選手が入館することはできない。

#### ②中央道場遠的矢道テント

24日(火)、25日(水) 8:00 予定

大会前日は、審査会開催の為、会場の事前確認等で選手が利用することはできない。

### (2) 明治神宮の閉門時間

以下の時間を過ぎると、明治神宮の外から明治神宮の中へ入ることはできないので注意すること。

4月の閉門時間 17:50

- (3) 射場内で、ぎり粉、筆粉を使用しないこと。
- (4) 中央道場には関係者(選手・監督・役員等)以外の立ち入りを禁止する。入館の際は競技役員にゼッケンを提示すること。弓道衣を着用していない場合もゼッケンを提示しなければ入館は許可しない。応援者等の来訪者があった場合は、選手又は監督が館外に出ること。
- (5) 控室及び観覧席での場所取りは禁止する。譲り合って使用すること。  
明治神宮内の芝地等にテントやパラソル等スペースを必要とする設置物の使用は禁止する。  
剣道場控室内での弓張りは禁止する。床や壁を傷つけないよう注意すること。
- (6) 弓具及び貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。また、ゴミは各団体でまとめ必ず持ち帰ること。
- (7) 会場は明治神宮苑内のため、苑内での大声での発声を禁止し、射場及び観覧席からの応援や鳴り物を使用した応援は一切禁止する。但し、皆中時と的中時の拍手のみ認める。
- (8) 会場内は裸足厳禁。必ず白足袋または靴下を着用すること。ストッキングは裸足とみなす。
- (9) 大会期間中は、中央道場2階に巻藁を5台用意する。譲り合って使用すること。
- (10) 24日(火)、25日(水)は会場内に弓具店が出店する。
- (11) 全館禁煙とする。

会場図



8. その他

- (1) 実行委員会で許可した写真業者が競技の撮影を行う。
- (2) 個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
- (3) 問合せは、国際弓道連盟宛（ [ikyf@kyudo.jp](mailto:ikyf@kyudo.jp) ）にメールにて行なうこと。  
メールの件名は「第3回世界弓道大会の問合せについて」とし、メールの本文には、問合せ内容の他に、所属団体と送信者氏名を必ず入力すること。